

平成21年度食品産業グリーンプロジェクト技術実証モデル事業
課題名： おから発酵物飼料化技術の実証 (研究期間 H21.9 ~ H22.3)

■協議会名

おから発酵物飼料化技術実証協議会

■実証事業者名

四国化工機株式会社

■課題概要

豆腐製造工場から大豆絞り粕（おから）が大量に発生しており、この一部は酪農家に提供し、一部を乾燥おからにして、極力産業廃棄物にならないようにしている。しかし、利用用途も限られコスト的にも採算性がない。このため、徳島県立工業技術センターの発酵技術指導および徳島県立農林水産総合技術支援センター畜産研究所の技術指導により、納豆菌で発酵、乾燥させて飼料化の可能性を見出した。この発酵おからを畜産分野で利用するため、養鶏飼料としての活用に取り組み、採卵鶏の減亡率、産卵率及び腸内微生物を検証し、豆腐の生産時に発生する大量のおからを高品質飼料として商品化を図り、地域経済の活性化につなげる。

■達成目標

発酵おからの粒度均一化
 発酵おからの納豆菌数 10⁹個/gの確保
 採卵鶏の減亡率、産卵率の向上と腸内微生物の改善

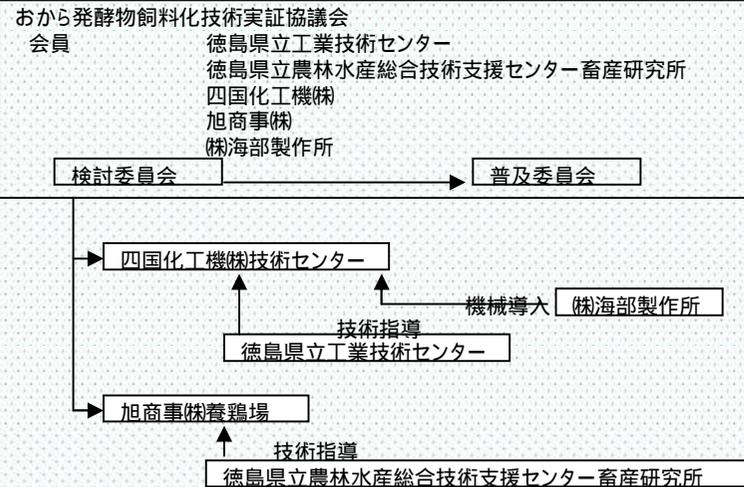
■期待される成果、効果

高栄養価飼料としておからの高付加価値化が可能となる
 おから納豆菌発酵飼料の給与により鶏の腸内細菌叢の改善(プロバイオティクス効果)が可能となる
 抗生物質を含まない鶏糞の有機肥料化が可能となる

■問い合わせ先

四国化工機株式会社
 担当 大田昌平 TEL 088-698-4141 FAX 088-698-7391
 E-mail info@shikoku-kakoki.co.jp

■研究実施体制



■成果

発酵室の改良

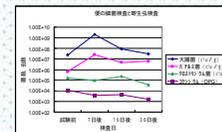


粉砕機導入



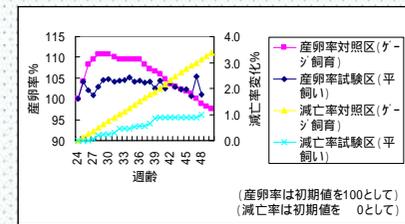
納豆菌数 10⁹個/g
 粒度の均一化

おから発酵物



成果
 おから発酵物によるプロバイオティクス効果
 環境に優しい鶏糞の有機肥料化

鶏に投与



産卵率向上
 減亡率向上

